

子どもが被害にあわないように地域で見守りましょう。

■できる範囲で子どもの見守り活動に参加しましょう。

- ・ 玄関先での登下校の見守り、犬の散歩や買い物の際の見守りなど「5分間見守り運動」に参加しましょう。

■家庭での安全教育に努めましょう。

- ・ 通学路や家の周りを親子で点検し、危険な場所を確認して地域安全マップをつくりましょう。
- ・ 愛情をもって子どもを育て、悪いことをしないように小さい頃から教えましょう。

■子どもが危険な場所に近寄らないように声をかけ、注意しましょう。



5分間見守り運動

子どもの登下校の時間にあわせ、玄関先に出て子どもの様子を見守る運動に参加しましょう。

子どもたちの姿が見えなくなるまで見守ることで、通学路ぞいの家庭のつながりが生まれます。

また、通学路ぞいの家庭だけでなく、登下校時間に合わせて、買い物や散歩に出かけるのも効果があります。

子どもたちが地域に住む大人の顔を覚えることになり、顔見知りになれば自然と会話も生まれ、地域に見守られていることが実感できます。



5分間見守り運動



子どもの登下校の時間にあわせ、玄関先に出て子どもの様子を見ることで



子どもの見守りが自然に、負担なくできます。